輝石 ～追～

洗足学園高等学校　高校２年　学年通信　2020.06.09 発行
（活動メモより特別号⑥）

先週の分散登校は、普段とは違う学校の雰囲気に戸惑いを覚えながらも、やはり友達との久しぶりの再会に、 笑顔溢れるひとときになりました。ご家庭では健康チェックなどのご協力、ありがとうございました。引き続きよろしくお願い申し上げます。

活動メモは６月３ 日、登校日前日をもって終了しました。ラスト３回は、休校期間の３か月を振り返る「問い」にしました。クリエーター顔負けの独創性と、深い洞察力に脱帽です。

６月１日（月）　『 The Great Realisation 』　　I 先生からの問い

イギリスの映像制作者のトム・ロバーツ氏（26）が４月末に公開した動画 『 The Great Realisation 』をクラスルームにアップしました。この動画を視聴してください。そして、未来のあなたが、今あなたの身の回りに起きていること、あなた自身が感じていること、考えていることなどを、未来の誰かに伝えてください。時間軸、登場人物は自由に設定して構いません。

高 2B O.M

新型コロナウイルスはネガティブに語られがちだけど、私はむしろ新型コロナウイルスによって手に入れられたものもたくさんあると思ってる。例えば今まではなんとなく受け流されていた問題が次々にみつかった。例えばそれは国家の難しい問題だったり、国と国の間の問題だったり。今まで溜め込んでしまっていた仇がウイルスによって次々と姿を表した。この国は所詮こんなもんなのかって絶望することもあったし、逆にこのウイルスを通して自分の国の良さにも気づくことができた。家庭の中でも今までは見逃していた問題がたくさん見つかってそれを解決する時間も与えられた。

そんな難しいことだけではなくて、多くの人が自分のことを見直す時間も与えられた。今までは時間がなくてないがしろにしてしまっていたことを、時間をかけてする機会もたっぷり与えられた。そしてなによりも当たり前が当たり前ではないことに気づくことができた。

私はこのウイルスが蔓延する前は、当たり前を本当に当たり前だと受け止めてしまっていた。自分に限って「当たり前」が奪われることはないだろうと思っていた。このまま普通に学校に行って、友達とおかしいくらいに笑って、喋きながらも部活に行って、くたくたになって家に帰る。そんな毎日がずーーっと、続くと思っていた。でもウイルスが流行りだして、学校も、部活も、当たり前だと思っていた自分の日常の一部が急に奪われて、初めてそれが当たり

前ではなく、それができていたのはむしろ奇跡に近いものだったと思うようになった。だからこそウイルスの悪さが終わったあとは、当たり前を大切にしようと思えたし、これがあったからこそ、私は毎日を大切に生きることができている。

高 2C S.M

その時は今ほどではないが、科学技術や情報通信技術がすごく発達していて、もうすぐ AI が人間を超すかもしれないとまで言われていた。道路には車だらけ、道にはスマホを手にした人々で溢れかえっていて、思春期の学生や若者の中にはスマホから離れられずに、家族と話す時間よりもスマホ優先になっている人も多くいた。しかしそんなときにコロナウイルスが流行りだした。当たり前のように遠くまで車で旅行したり、学校に行ったり、友だちと直接話したりすることが急にできなくなった。いろいろな技術の発達のおかげで、家にいても電話やオンライン上で人と話すことはできたけどね。それでもやっぱり家の中にずっといる生活は息が詰まる。だから人々は家の中でもなんとか楽しめることを探すようになったり、家族と会話をするようになった。世界中の人みんな同じ状況にいるんだから自分も頑張らなくちゃってね。外に出ていなかったから環境破壊のすすみは少し収まったんじゃないかな、３ヶ月じゃああんまり変わらなかったかもしれないけど。

自粛している間、人々はいろんな事を考えた。あるひとは学校に行きたくなくて引きこもりだったからいっそこのまま自粛期間が一生続けばいいと思ったし、ある人は学校や仕事が大好きだったから友達や同僚に会えない辛さに苦しんでいた。ひとそれぞれ思いは違うけれど、コロナウイルスは確実に私たちの生活に大きな影響を与えた。たとえば助け合いの精神を生み出したとかね。

そうだなあ、わたしは学校が嫌いではなかったけれど、勉強を自らしにいくのは嫌だった。だから最初は不謹慎だけれどちょっとラッキーなんて思ったりもしちゃったんだ。けれどそんな悠長なことを言っている場合ではなくなってきて、夏休みよりも長い休みになって、どんなに友達の存在が大きかったかを思い知らされたよ。それにスマホ依存症は治らなかったけれど、家族と話す時間が増えて少しはメリットもあった。

もしまたコロナのようなウイルスが流行ったら？それはいやだね、毎日のように死亡者のニュースを見るのは心が痛くて二度と経験したくない。友達とも離れたくないし。コロナウイルスは私たちから多くの大切なものを奪った。それは大きな損失で辛いものだった。けれど辛いものの中にも少しの光はあったんだ。明かりを灯すことさえ覚えておけば、最悪なときにも幸せを見つけることができる。そう気づけたよ。

高 2D T.N

私があなたと同じくらいの年のとき、COVID-19、そのときは新型コロナとよんでいたものが流行って、学校が３ヶ月位なくなった時があったんだ。これをきっかけに世界の政治や経済の流れが、どんどん人と人との直接の関わりを避けるようになったり、あなたが身近なところでいうと、学校というのは、場所ではなく組織を表すようになって、登校なんて文化はなくなってしまったね。このときは、オンラインで学校があって、ずうっと暇ってわけでもなかったけど、ずっとニュースを見ていたから、色んな情報に触れていたなあ。そういえば、このときの安倍政権は日本全国で品薄になっていたマスクの供給問題をどうにかするために、アベノマスクっていうのを全国に発送するって指示したんだけど、これが来るのが本当に遅くって、届くまでの間に自分で作るなりしてどうにかした人たちは結局、市役所なんかに寄付もしていたね。私の家も、緊急事態宣言が解除

されてから２週間ほどで届いて、必要なときに欲しい物が必要なくなったときに届くっていうのはちょっと遅かったなあ、なんて思ったな。その一方で、ある時ニュースで私と同年代の女の子が取り上げられているのを見たんだ。その子は家にある3D プリンタでフェイスマスクを作って、医療団体に寄付をしていた。政府の政策よりも高校生一人の行動のほうが、問題解決に貢献していたことに私はびっくりしたよ。だからね、今、環境問題とか社会問題とかが色々とあるけど、人間１人がどうしようもないことなんて、案外少ないものなんだよ。団結して皆の意思を汲み取って行動することも良いことだけど、自分で率先して動いてみるほうが案外力があったり、後から誰かが後押ししてくれることだってある。だから、何でも、まず自分から動くってことは大事なんだ。

高 2D W.M

やあ、今日もここへ来たのかい。この公園にはたくさんの遊具があるというのに、外れのベンチに来るなんて君たちも変わっているね。

はいはい、話すから落ち着いておくれ。昨日はどこまで話したかな？ ああそうだ。沖縄の首里城で大火災やそれはそれは大きな台風が来たことだったね。それじゃあ今日は次の年の……。ごめんね、ちょっと感慨深いのさ。この年は本当にすごい一年だったから。今日のお話は人間の、社会の仮面が外れた令和二年。コロナウイルスの話をしようか。

みんなもコロナウイルスのことは知っているね。今ではワクチンもできているしどこにでもあるただの風邪だ。冬になるとインフルエンザかコロナウイルスにかかりたがっている子もいるだろう。でも、熱が下がったらオンライン授業にだけ参加するはめになるから、あまり意味も無いけどね。

ちょっと話しがずれたね。コロナは別に大きな病気じゃないんだけど 2020 年に突如、ワクチンが効かない新型のものが現れたんだ。はじめは世界中の誰もが大したこととは思っていなくてね、せいぜいインフルエンザ程度のものと思っていたんだ。でも実際はそんなことなかった。感染しても熱がでるまでに時間がかかる。それはあっという間に流行した。日本では一万

人以上の人が、世界では 600 万人以上の人が感染するものとなったんだ。

世界は大パニックになったよ。もしかしたら自分や家族の誰かが感染しているかもしれないという恐怖もあったしからね。怖さからマスクやトイレットペーパーを大量に買う人も現れて、マスクを買うことができないこともあったんだ。国はよくわからないけど１つの家族に二枚布マスクを配っていたりしたけれど……。この話はあとでにしよう。イベントやライブは全部中止、美術館やレストラン、デパートとかも全部休んだり通販のみになったんだ。信じられないだろう？ 私たちも信じれなかったし、この世界はどうなるのかって考えた人も多かったと思うよ。

それにこれを機に人間の薄暗い部分がたくさん現れてしまったの。電車での喧嘩もすごく増えたし、医療の仕事をしている人の子供を受け入れない保育園もでてきた。誰かが外出しようならよってたかって叩かれたし、仕事を失って路上をさまよう人もたくさんできてしまった。

でも、別に悪いことばかりでもなかったの。いろんなことが、今まで目をそむけていたものを見つめ直すいい機会にもなったんだ。例えばオンライン授業。今では台風の日とか学校で受けなくてもいい授業しかない日にオンラインで授業や課題があるのが当たり前になってるけど、昔はそうじゃなかったんだ。え、そっちの方が信じられないって？ 確かに、言われてみればそうかもしれない。でも本当だったんだ。かろうじて私立――教育にお金をかけている家庭の子たちが通っている学校――はオンライン授業をできていたけど、国立の学校や小学校では一切授業がなかったんだ。放ったらかしにされた状態で勉強しろ、と言われても難しいし、しばらくの間はそれの埋め合わせが大変だった。だけど、それがきっかけで国が大幅に教育改革を行ったんだ。全員にタブレットや Wi-Fi 環境を支援したりしてね。おかげでそれ以降病気が流行ってもオンライン授業で補えたり、質問とかもメールでできるようになったんだ。

それだけじゃないよ。家族団らんの時間が増えたのもその時からだったんだ。あの年以降家で仕事をする、所謂テレワークが導入されるようになったんだ。それのおかげで無駄な会議がなくなったり満員電車が少なくなったりしたんだよ。今から考えると、毎日満員電車に乗っていたなんて不思議な感じがするよね。それで、テレワークになったおかげで通勤の時間が減った分家族と一緒にいるようになったんだ。家族で家事を分担したり、週の半分以上は家族全員でご飯を食べるようになった。今では全部当たり前だと思うことは全部、この 2020 年から始まったんだ。

他にも、手洗いうがいやマスクのエチケットとか新しい常識も生まれてきた。あの頃はみんな生きるのに必死だったから気づいてなかったけど、あとから考えてみるとあのウイルスがあったから私たちは今余裕のある暮らしができるようになったんだ。

ふう。今日はたくさん話しすぎてしまったね。でも、これからを生きる君たちはこの年のことをよく知って同じ過ちを繰り返さないでほしいんだ。うん、いい返事をありがとう。

明日はなんの話かって？ そうだねえ。明日はスポーツの祭典、オリンピックの話にしよう。このオリンピックは波乱万丈であとにも先にもこんな大会はなかったと言われているんだ。楽しみにしておいて。それじゃあ、さようなら。

高 2F I.M

【自分の子供や未来の子供へ】 コロナウイルスによって学校がなくなったからとても大きな休みができました。この期間に私は周りの人の大切さに気づきました。外出自粛期間中、父が寝込んだときがありました。検査をしたら陰性でコロナウイルスにかかっていなかったため安心しましたが、検査をするまではもし陽性だったら、このまま死んでしまうのではないかととても不安になりました。誰にも言っていないけれど、その時は今まで父にしてもらったことを思い出したりやひどい態度をとってしまったことなどを悔やんだりしました。不謹慎な言い方ではありますが、父の風邪の騒動によって家族の大切さに気付かされました。そしてこれからはいつ誰かが死んでもおかしくないから、思ったこと、感謝はちゃんとその場で伝えて、家族を大事にしていこうと思うようになりました。今あなた達はあまり周りの人の大切さについて考えたことがないかもしれないけど、一度考えてみてください。いつ会えなくなるかわからないから、ちゃんと自分の思い、感謝を周りの人に伝えることを忘れないでください。

高 2F T.M

【未来のこどもへ】 やっと部内の最高学年だね、ファイト！お母さんが部活内の最高学年だった時はね、コロナウイルスが日本でちょうど流行りだした時だったの。今では普通に予防薬まであって、なんてことないと思うけど、当時はちゃんとした治療法もなく検査をうけられるのもそれらしい症状が出てからだったから、とにかく感染が広がらないように、私たちは家にずっといないといけなかったのね、「ステイホーム週間」っていう期間名。学校行かなくてラッキーじゃん、ってなるかもしれないけど友達と会って話すのが好きだった私は友達と会えないことが辛かったし、メリハリがない怠惰な生活を送っちゃってて損したかな。それに最後の合宿もできなかったし、最後の大会もなくなったし、私の一個上の先輩は引退公演までできなかったんだよ。もちろんわたしたち吹奏楽部だけじゃなくて、いろいろな部活の大会がなくなっちゃたの。甲子園球児が泣いている姿はテレビでいっぱい放送されていたわよ。わたしは本当にいつも通りに部活ができないという状況が呑み込めなくて、ずっとボーっとしてる感じだった、泣けなかった。実感がつかめないまま進級しちゃって、もう大学受験。もっと部活に熱心になっておくべきだったのかな、とかいろいろ後悔しているよ。まあ私が言いたいのは当たり前なことができることを感謝してほしいってことです。部活最後の年、全力で取り組みなね。

高 2C Y.Y

私は休校期間中に友人とオンライン勉強会をしました。勉強している手元のみをお互いにテレビ電話で写しているだけでしたが、私はとても勉強がはかどりました。

お互いに Wi-Fi 環境が良いとも言えず、マイクを入れてもとぎれとぎれで全く声は聞こえなかったので基本的にマイクはオフにしています。そのような状況なので、口頭で質問というのはほとんどしていません。リアルで会って勉強会をしたほうがお互いにわからない問題を質問し合うことができ、効率的です。しかし、逆に言えば、オンライン勉強会では自分が集中して問題を問いているときに誰にも邪魔をされないということです。質問を受けて、頭を他教科に切り替えて集中力が下がるということがありません。

果たしてこのオンライン勉強会で友人との、辞書の言葉通りの「コミュニケーション」が図れていたかと言うと微妙です。各自勝手に通話をつないで、勝手に通話から抜けていました。無言で。

しかし、友人が勉強をリアルタイムでしているということが目視できるというのは自分の中でモチベーションアップに繋がりました。

コミュニケーションというのは、人と人の繋がりではないでしょうか。リアルではもちろんコミュニケーションを図るし、必須です。しかし、オンライン上であれば必要以上の干渉はなく、自分の時間・自分の場所・自分の空間を保持したまま人とつながることができるます。オンラインのコミュニケーションはそのようなところが利点だと私は思います。いい加減寂しくなってきたので友人の顔をリアルで見たいところですが、自分の空間というものが好きな私にとっては、オンライン勉強会はとても有意義な時間でした。リアルでの過干渉コミュニケーションばかりでは疲れてしまうので、オンラインのコミュニケーションというものも大事だなと私は感じました。

高 2E N.A

コミュニケーションとは、お互いに思ってることや意見などを伝え合うことだと思う。しゃべるだけでなく、相づちも含めてコミュニケーションだと思う。文実装飾部門のみんなと LINE 電話でデザイン会議をしていた時に、相づちの大切さをすごく実感した。自分が喋った後にみんなの反応が見れないのがすごく嫌だった。会っていれば、うなずいたり、首をかしげたりしているのがわかるが、オンラインだと声を出さないと無音になるので、考えているのか、そもそも聞こえていないのか、まったくわからなかった。逆に少しでも声が聞こえるだけでホッとした。また、デザイン会議は、みんなそれぞれで考えたり、絵を書いたり、調べたり、と喋らずにいる時間が割と多い。実際に会って話していればみんなが何をしているのかわかるけど、電話だと完全に無音になってしまうので「今なんの時間だっけ」となることがよくあった。会って話すことができるありがたみがわかったし、反応が見えることのありがたさもすごく実感

した。オンライン上の時は特に、お互いが積極的に話すことが大切だなと思った。

高 2F F.K

「コミュニケーションする」と聞くと、かたくるしいもののように私は思ってしまうが、誰かに自分のこと(意見や考え、気持ちだけではなく、今日起こった事や自分が好きなものなどの些細なことも)を話すことを「コミュニケーション」というのだと思う。 「オンラインでのコミュニケーション」と「リアルのコミュニケーション」の私が思う一番の利点を述べてみようと思う。 「リアルのコミュニケーション」の利点は相手に自分の言いたいことを伝えやすい、ということだろう。私はこの自粛期間に友達と LINE 電話をしたが、自分の言いたいことが伝わりづらいと思った。大きさや長さが具体的にわからないとき「これくらいの物があって」と言ったり「こんなに大きかったんだよ」と言ってしまうこと。実際に対面して話しているのならば、身振り手振りをしたり、ジェスチャーをしたりして具体的な大きさを伝えることが出来るが、オンラインではそれが出来ないので言いたいことを伝えづらいと感じた。だが、オンラインでのコミュニケーションによって、逆に伝える力が上がるのではないかと思った。相手にジェスチャーで伝えることが出来ないのなら具体的に例を出してわかりやすく伝える必要が出てくる。そうすることで、いままで「これ」や「あれ」で表してきたことを表現する力がつくのではないかと思った。 「オンラインでのコミュニケーション」の利点は相手に気をつかうことなく話すことできることだと思う。リアルでのコミュニケーションは相手の顔や態度を見えてしまうので、「相手が嫌な顔しているから言わないほうがいいかな」と思ったり、「暗い顔してる、なんか気に触ること言ちゃたっけ」と相手に気をつかってしまうことが多かった。しかし、オンラインでは顔が見えないので相手に気を使うことなく言いたいことが言えるような気がする。相手に何でも伝えることができると思った。 私はあまり話すことが得意ではないので、顔が見えない「オンラインでの会話」のほうがやりやすいと思ったが、顔が見えないことは寂しいことでもあると思った。早く対面して話せるようになりたい。

高校２年生、進級おめでとう！　６月４日（木）　分散登校初日

☆学年集合写真はかないませんでしたが、始業式恒例のお花づくりはおこないました。次回登校日にどんな絵になっているかお楽しみに！！